

コミセンの集い・コミセンフォーラム

平成30年9月1日(土) 野添コミセン多目的ホール

コミセンの集い 10:00~12:00 多目的ホール

ミニ人権講座・映画『いつまた、君と』

やっと猛暑からちょっと逃れられたと感じられる雨もぱらつく日、足元の悪い中、160名ほどの方がコミセンの集いに参加されました。いきいき活動推進委員会の方に受付をしてもらい、会場となった多目的ホールは満席でしたので一部の方にはロビーで映画鑑賞をしていただきました。

まず最初に人権啓発委員の田尻さんより、ミニ人権講座として10分ほど昨今の人権に関する問題について提起していただきました。この夏、医大の合格ラインが男子と女子が違っていったとか、官庁の障害者の採用状況に偽りがあったとか、スポーツの世界でのコーチによるパワーハラスメントとか看過できない事件が次から次へと起きていることが説明されました。また、平成28年度に人権三法が施行されたことが紹介されました。私たちがしっかりとした目を持つことの大切さを改めて学習しました。

続いて映画『いつまた、君と ~何日君再来~』の鑑賞をしました。この映画は俳優の向井理さんの祖母の手記をもとに向井さんが企画した映画で、向井さんの祖母朋子さんの終戦前後の生き様を紹介したものでした。朋子さんの夫吾郎さんと中国の南京・上海での暮らし。敗戦後の帰国。そして夫の波乱の歴史と共に生きた朋子さんと子どもたちの苦しい生活。それでも深い絆で結ばれた家族のノンフィクションならではのドラマが繰り広げられていました。

こんなに平和で物にあふれたこの時代に、何のために生きるのか。幸せとは何か。改めて一人一人の観客に問う映画でした。



コミセンフォーラム 12:15~13:30 多目的ホール

映画のあと、簡単な食事をしながらコミセンフォーラムを行いました。37名の参加がありました。

最初に映画の感想を話し合っていたのですが、70代の方も多く、お父さんやお母さんから実際に話を聞いた方や子どもながらに昭和20年代の生活を思い出された方など、その時代を懸命に生きた人々のおかげで今があることに皆さん感謝しておられました。

語ろう地域のことは、12月2日(日)に、野添コミセン区の自主防災組織としての初めての防災訓練を実施するにあたり、意見を出されていました。第1次避難場所はどこにあるのか、家族での話し合いはできているのか、防災支援マップ作りを始めているとか、いろいろな話がありました。

地域の問題として、高齢化で役員をできる人が減少していること、ゴミステーションの利用ルールの徹底とか、ここ数年継続して深刻な地域の実態が紹介された。

播磨町で行われているいきいきフォーラムのコミセン版を毎年やっているのですが、いろんな機会でも地域の人々が生活しやすくなるようなコミュニケーションを図る事業は大切だなと思いました。ただ、それに賛同してどれだけの人が集まるかはこれも地域の人々の思いや関心の問題だと思いました。

